

4月26日 千葉日報



【衆院環境委】

種の保存法改正の効果は

太田 和美氏（民進・比例南関東）

太田議員は、千葉県レッドリストで本県内では21種が絶滅したと報道されたことを受け、種の保存法改正案で状況が改善されるのか、参考人に意見を尋ねた。

環境省 取り組み強化を

日本自然保護協会の辻村千尋・保護室長は「改善される部分は少ないと考えている。絶滅危惧種が増えている状況で、保全が進んでいない。生息地保護区の設定を大規模にやっていく必要がある」と指摘した。

一方、大阪府立大学の石井実副学長は「里山関係の保全はやりやすくなる」と反論したが、「環境省の予算や人員に限りがある。手を付けるべき」と、予算の増額や人員増を要求。里山保全活動に取り組み民間団体と連携した保全活動の強化の必要性も訴えた。